

国家予算と統治

上下両院の首脳が新たな予算案に合意しましたが、国民の多くは満足していません。それでも 1 月 19 日までに通過させなければ政府は閉鎖を余儀なくさせられます。弊社はそうなるとは思いますが、政府支出をめぐる争いは毎年長引くようです。

その理由を理解するのは難しくありません。連邦政府による非国防支出（社会保障費などの給付を含む）は劇的に増加しています。

- 1960 年代の GDP の 10%
- 2001 年の GDP 比 14.8%
- 2007 年の GDP 比 15.2%
- 2019 年の GDP 比 17.8%
- そして現在、2020 年の 27.7% をピークに、今後 5 年間で GDP のおよそ 22% になると予測されています。

言い換えれば、非国防支出は 60 年前と比べて毎年 2 倍以上の GDP を消費しています。そして GDP に占める割合は、大不況の直前から 45% 増加し、COVID の前年からは 24% 増加しています。政府は民間部門が生産するものからますます多くを奪い続け、年間約 2 兆ドルの赤字に向かっています。

大不況と COVID は共にオフイベントでした。なのにどういふわけか、政府支出は危機以前のレベルには戻りませんでした。政治家たちは、このよう無謀な支出、あるいはその結果生じた赤字に対して、有権者から罰せられることがなかったため、路線変更するインセンティブがほとんどなかったのです。

これが、近年の予算闘争が一貫して醜いものとなっている理由なのです。予算の合意ができないのなら債務上限を引き上げない、あるいは政府を閉鎖するといった脅しが繰り返されるのは日常茶飯事のことです。歳出の抑制を望む政治家の顔ぶれは常に入れ替わり、各方面から「うまくやるためにはうまくやるしかない」という強い圧力にさらされています。それでも彼らは互いに戦う。そして戦うべきなのです。

連銀が人為的な低金利を解除したのと時を同じくして、負債総額は膨れ上がりました。2020 年の純支払い利息は 3,326 億ドルでした。しかし過去 12 ヶ月では 7,304 億ドルに跳ね上がっています。議会予算局は、2028 年以降、純支払い費は年間 1 兆ドルを超えると予想しています。これはまさに狂気です。

アメリカは税率を上げればいだけだと思っている方が多いようですが、歴史を振り返れば、増税により赤字を解消することは事実上不可能であることがわかります。最後に財政が均衡したのは 1998 年から 2001 年の間です。この間、税収の平均は GDP の 19.4% という史上最高値を記録し、歳出総額の平均もわずか 18% でした。

これは、米国現代史における奇跡的な時代の最後尾でした。レーガン大統領に始まり、クリントン大統領まで、政府の支出は対 GDP 比で減少したのです。政府の支出が減れば減るほど、民間部門の成長余地が増え、経済成長は活況を呈し、その成長が税収を押し上げたのです。

支出が増えすぎると、経済成長は鈍化し、税収も減ります。昨年、CBO（議会予算局）の予算予測は税収を 11% 過大評価し、支出を 9% 過小評価しました。政府が大きくなればなるほど、毎年このようなことが起こる可能性が高くなるのです。

アメリカが歳出を削減していた 1980 年代から 1990 年代にかけて、実質 GDP は年平均 3.2% 成長しましたが、過去 2 年間は、歴史的な大赤字にもかかわらず、実質 GDP は平均 1.7% しか伸びていません。

議会の構成が歳出削減を望む人々にとって困難なものであることは理解しています。しかし、彼らを罵り、統治能力がないと非難することは、問題を長引かせることになるだけです。制御不能な支出と、見渡す限りの巨額の赤字こそが、国家統治における真の失敗なのです。

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサ ス	ファースト トラスト予測	発表結果	前回
1-16 / 7:30 am	ニューヨーク連銀製造業景気指数 - 1 月	-5.0	-4.3	-43.7	-14.5
1-17 / 7:30 am	小売販売 - 12 月	+0.4%	+0.5%		+0.3%
7:30 am	小売販売（除く自動車） - 12 月	+0.2%	-0.1%		+0.2%
7:30 am	輸入価格 - 12 月	-0.5%	-0.4%		-0.4%
7:30 am	輸出価格 - 12 月	-0.7%	-1.0%		-0.9%
8:15 am	鉱工業生産 - 12 月	-0.1%	-0.2%		+0.2%
8:15 am	設備稼働率 - 12 月	78.7%	78.5%		78.8%
9:00 am	企業在庫 - 11 月	-0.1%	-0.1%		-0.1%
1-18 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 1 月 13 日	205,000	205,000		202,000
7:30 am	住宅着工 - 12 月	1.425 百万	1.459 百万		1.560 百万
7:30 am	フィラデルフィア連銀製造業景気指数 - 1 月	-6.4	-6.7		-10.5
1-19 / 9:00 am	中古住宅販売高 - 12 月	3.830 百万	3.830 百万		3.820 百万
9:00 am	ミシガン大学消費者信頼感指数 - 1 月	70.0	69.5		69.7

コンセンサス予測はブルームバーグ社が提供するものです。このレポートは、First Trust Advisors L.P.によって作成されたものであり、著者の意見を反映したものです。正確且つ信頼できる情報源とデータに基づいたものです。意見および将来の見通しに関する記述は、予告なしに変更される場合があります。この情報は、証券の売買の勧誘または売り出しを目的とするものではありません。